

会社概要

地域未来牽引企業

2021



健康経営優良法人
Health and productivity

やまふじ うんゆ
有限会社 山藤運輸

本社所在地：宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田141-3

設立：1988年8月 車両保有台数：42台 社員数：49名

主な商圏：南三陸町、宮城県内、東北六県

業種：運送事業、産業廃棄物収集運搬業

環境事業(バイオマス関連事業)、農業関連事業



山藤運輸の経営理念とコーポレートスローガン

コーポレートスローガン
想いを運ぶ 未来につなぐ

ミッション

(会社の存在意義)

人々の生業と豊かな暮らしを支え、持続可能な社会の実現に
物流を通じて貢献し、地域と共に成長し続けます。

ビジョン

(目指すべき将来像)

- ① **社員みんなが笑顔**で誇りをもっていきいきと働き、成長できる企業を目指します。
- ② **安全安心のサービス**を提供し、**お客様のベストパートナー**を目指します。
- ③ **物流を軸にサービス革新に挑戦**し、新たな産業の創出を目指します。
- ④ **資源循環の輪**をつなぎ、**持続可能な未来**の実現を目指します。

南三陸町のビジョン **森里海ひと いのちめぐるまち南三陸**

環境事業課のこれまでの取り組み



- バイオマス関連事業
 - 南三陸BIOへの原料の運搬
 - 液肥運搬散布事業
- 農業関連事業
 - 耕起、畔塗等の農業補助業務
 - 耕作放棄地の水稻試験栽培
 - めぐりん米栽培
- 教育関連活動
 - 町内小中学校への出前授業
 - スタディーツアー受入れのプログラム担当



協力隊(農業活性化専門委員)のこれまでの取り組み

- 地域未利用資源や液肥を活用した農作物等のブランド化推進
 - 地域の未利用資源活用(牡蠣殻・わかめ茎、ワインぶどうかす等)
 - 液肥利用推進とめぐりんブランドの確立(米や野菜等)
- 遊休農地・耕作放棄地活用推進事業
 - 遊休農地や耕作放棄地を活用した米や野菜、果樹等の栽培
 - 温室効果ガス(CO₂)削減栽培の実践
 - 農業体験や観光農園の企画実施
- 持続可能な地域農業の確立及び移住促進
 - 南三陸の農地活用方法の検討企画
 - 新規就農者や移住者の農業PR



これからの取組み

- 地域未利用資源を活用した脱炭素推進【今回(R6.1~)申請する協力隊員の事業】
 - 地域の再生可能未利用資源の活用(林地残材やもみ殻、竹等)
 - カーボンオフセットするためのCO₂排出・吸収の仕組みづくり
 - 事業活動による自然への温室効果ガス負荷量・影響量の測定
- 生物多様性保全推進事業
 - 事業活動による生物多様性への負荷量・影響量の測定
 - 環境省の自然共生サイト認定等取得(対外的評価)
 - 環境スタディーツアーや体験受け入れ等の企画実施
- 循環経済体制の確立
 - 南三陸の脱炭素・生物多様性保全を換金する仕組みの検討企画
 - 農業者が連携し、環境に配慮した持続可能な栽培方法等の仕組みづくり
 - 地域農産物への付加価値創出とそれに伴う所得向上対策



3年後のビジョン

- 南三陸町の事業活動などによる温室効果ガスを見える化し**持続可能な地域環境づくり**を目指す
- 農作物などの**地域価値に新たな価値**を付加する
- 地域の再生可能未利用資源活用が推進され、循環の輪を広げる
- 就農者や農業関係者が脱炭素及び生物多様性保全で新たな**地域連携を生み出す**(環境整備・教育)
- 環境保全活動等を通じて、**地域全体の所得向上及び交流人口の増加**に寄与する

将来的な運営体制

- 前向きかつ主体的に取り組む人材と共働し、町内外の関係者と連携しながら、ビジョンに向けて事業継続していく。
- 協力隊任期中に対外的な評価の取得や再生可能地域資源活用、ブランド化を行い、**持続可能な事業運営体制を構築**する。
- 環境教育や生物多様性保全事業など行政と連携しながら、**地域農業の付加価値を創出し、収益化**を目指す。

事業の将来展望(脱炭素・生物多様性)

環境省

TNFD
地域・事業環境
生物多様性保全

TCFD
グリーンカーボン
CO₂の排出・吸収

生物多様性
クレジット(仮)

課題

- ・技術知識がない
- ・基盤がない
- ・推進者いない

Jクレジット
(炭素取引)

課題

- ・技術知識がない
- ・基盤がない
- ・推進者いない

地域共生サイト連携

CO₂事業検討連携

農業における
カーボンオフセット
生物多様性保全

山藤運輸
環境事業課

環境研究
教育事業
スタディツアー

取り組み連携
担い手協力

ツアー連携

農工房
地元農家

ブランド化連携
販売連携

情報連携

技術蓄積
技術研究
農地活用

協力隊員

交流人口
拡大
ブランド化
推進

移住センター
アマタサーキュラー

サスティナビリティ
センター

価値の創出
事業連携

ブランド化連携
販売連携

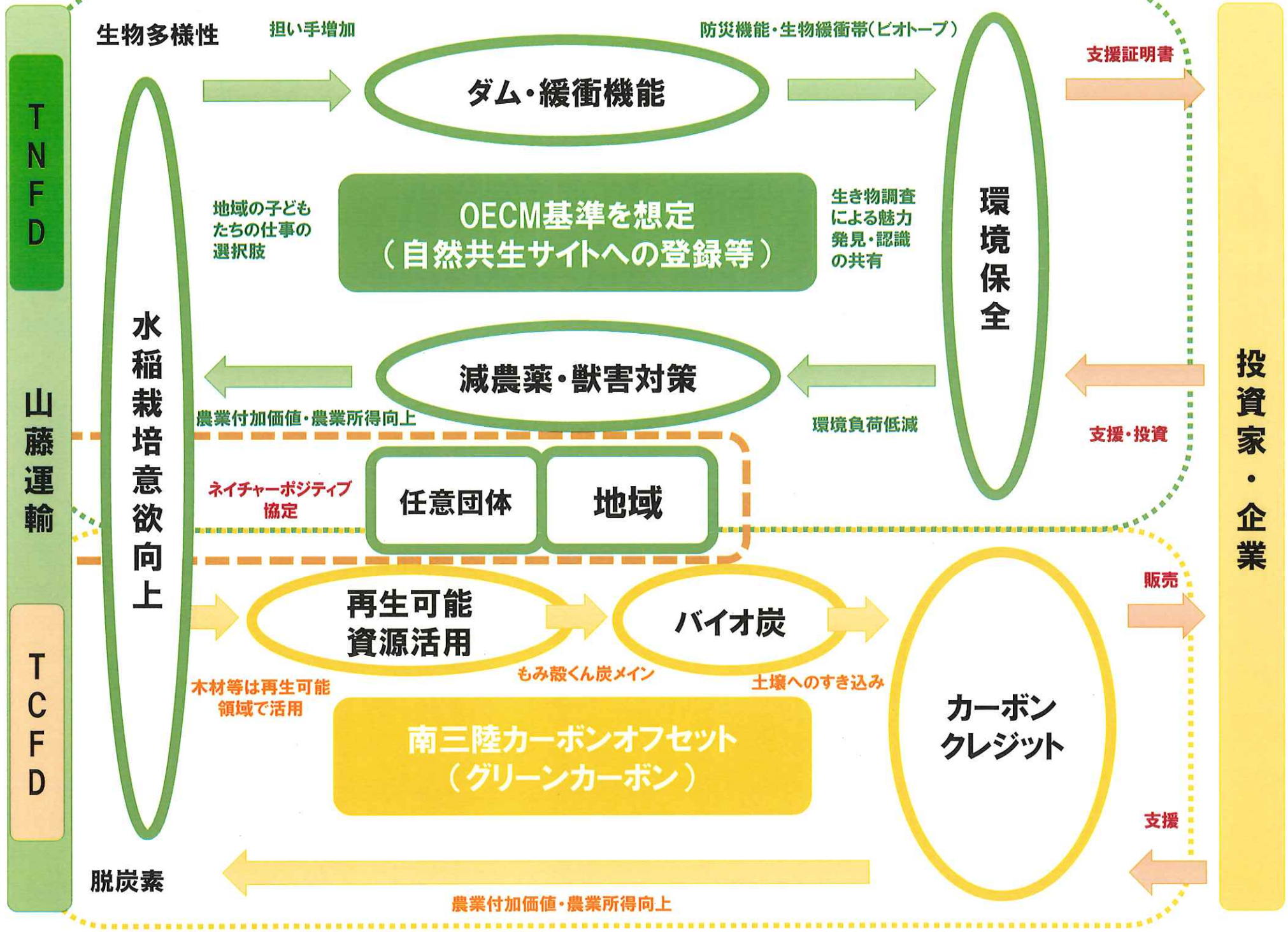
付加価値
発信

未利用資源活用
環境負荷測定
新たな価値創出

環境配慮
農作物
ブランド化

さんさん
マルシェ

店舗販売・移動販売
ふるさと納税返礼品
ネット販売



生物多様性

担い手増加

防災機能・生物緩衝帯(ビオトープ)

ダム・緩衝機能

環境保全

支援証明書

地域の子どもたちの仕事の
選択肢

OECM基準を想定
(自然共生サイトへの登録等)

生き物調査
による魅力
発見・認識
の共有

減農薬・獣害対策

環境負荷低減

支援・投資

農業付加価値・農業所得向上

ネイチャーポジティブ
協定

任意団体

地域

再生可能
資源活用

バイオ炭

カーボン
クレジット

販売

木材等は再生可能
領域で活用

もみ殻くん炭メイン

土壌へのすき込み

南三陸カーボンオフセット
(グリーンカーボン)

支援

脱炭素

農業付加価値・農業所得向上

T
N
F
D

山
藤
運
輸

T
C
F
D

投
資
家
・
企
業

水
稲
栽
培
意
欲
向
上

協力隊(農業)

山藤運輸

協力隊(脱炭素)

営農

農産物への付加価値
インセンティブ付与

液肥活用農作物等
ブランド化

温室効果ガス排出・吸収の仕組みづくり(カーボンオフセット)

事業活動による自然への温室効果ガス負荷量・影響量の測定

液肥活用
利用促進

遊休農地
耕作放棄地
活用

バイオ資源等活用カーボンクレジット

営農における肥料代替資源活用

未利用資源活用

バイオ資源等活用
バイオ炭材料確保～製造

資源循環・農業体験等による環境教育

環境教育

環境教育による地域の魅力認識・発見
(脱炭素・生物多様性)

就農者への環境整備による支援

移住・定住支援

持続可能な農業の確立・担い手募集